

# 富山の魅力の発信 “立山大使”

平成14年2月

富山経済同友会

この指とまれ委員会

## 富山の魅力の発信“立山大使”

I. はじめに	1
1. これまでの活動	
2. 提言「隠しておきたい小都会—富山」について	
II. 第1ステップ「財産目録」作成を通じた富山の魅力の再認識	2
1. 「財産目録」作成の試み	
2. 会員アンケートによる財産目録リスト	
3. 転勤族元会員からの「富山の魅力」に関する意見	
(1) 豊かな自然—日本の中でも“自然資源”の多い富山	
(2) 暮らしまわりの良さ	
4. 財産目録作成を通じての感想	
5. 富山の魅力を人の心に訴える	
III. 富山の魅力の絞込み—富山のアイデンティティーとは	5
1. 富山の魅力の源泉—“立山（立山連峰）”	
■立山について	
IV. 富山の魅力の発信—まず出来ることから始めよう“立山大使”	7
■立山大使について	
V. おわりに	8
(参考資料)	
・アンケートによる財産目録リスト	1
・                    “                    ”                    (市町村別)	3
・『富山の魅力』に関するアンケート（転勤族元会員）	4
・観光資源について	8
・暮らしまわりの良さ	10

# 富山の魅力の発信“立山大使”

## I. はじめに

### 1. これまでの活動

- ・この指とまれ委員会は、富山に係るタイムリーな諸問題について、積極的に取り組み討議及び提言を行うことを目的に平成10年5月に設置され、以後活動を重ねてきた。
- ・平成10年度は「富山の問題点、欠点、劣っている点を指摘し、改善策を提案する」ことをテーマとして活動し、平成11年4月には①官主導への依存を改善、②文化におけるソフト面の充実、③個性・特徴を持った人材の育成の3点をポイントとして、「こうすればもっと良くなる富山」と題して報告を行った。
- ・平成11年度は、「富山らしい街の活性化」のための具体的なプロジェクトを起案することを目標に活動を行い、平成12年5月には、「隠しておきたい小都会—富山」と題した提言をとりまとめた。
- ・この提言は、「こうすればもっと良くなる富山」を出発点にとりまとめたものであるが、問題点として、富山は素材としての魅力は少なくない（富山に居住経験のあるいわゆる「旅の人」は、実は「隠しておきたい」と思う程の心地よい小都会だと感じている。）にもかかわらず、人の心に強く訴えかける「富山とは何か」のイメージが弱く、存在感が希薄であり、このために、全国に「富山」を伝え、正当な評価を獲得していくことができないもどかしさがある旨指摘した。

### 2. 提言「隠しておきたい小都会—富山」について

- ・こうした状況を打破し、さらなる活性化のためには、「ハードの充実で活性化」から「人の魅力で活性化」へのパラダイム転換が必要であるとした。そして、魅力ある「人」の手で、「小さくとも感動を与える街」に変えるための方策として、
  - ①富山の魅力を掘り起こし、体系的に整理
  - ②魅力＝素材の組立てによる付加価値の創造とその発信
  - ③真に富山を理解している人々＝「新富山人」（富山の魅力を理解し、かつ「富山らしい」活性化に共鳴してくれる人々。すなわち富山県民や居住経験者、ゆかりがある人々等で、「富山をテーマとする人々」のこと。）による街づくりが重要であるとした。
- ・そして、富山を新たな魅力で活性化させるための具体的なプログラムとして以下のプログラムを提唱した。
  - 第1ステップ（1年目）：  
富山は何を伝えることができるのか、自分では気づいていない富山の魅力を再発見するため、「知られざる財産目録」を作成する。
  - 第2ステップ（2～3年目）：  
再発見した素材としての魅力を組み合わせて新たな魅力を創造する。具体的な活動として、「富山セラピー（短期県民募集）プログラム」と「富山をテーマとした芸術作品の創出」。
  - 第3ステップ（4～5年目）：  
富山をテーマとする人々＝「新富山人」に対する富山として受け皿を用意する。具体的な活動として、「有償ボランティア教員プログラム」と「歩いて暮らせる街づくり」。
  - 第4ステップ（6年目～）：  
高齢新人類（＝社会の第一線を退いた後も、生きがいを求めて社会との接点を

重視し、また自らの関心を深化させるために行動する新しいタイプの高齢者が住みたくなる街づくりを目指し、小さくとも人々に感動を与え、共感を得ることができる街を目指す。

## II. 第1ステップ「財産目録」作成を通じた富山の魅力の再認識

富山は決して魅力のない街ではない。天賦の豊かな自然と食住環境に恵まれており、住み慣れた者にとっては、安心して「豊かな」生活を送ることのできる場である。そうした魅力を持った富山ではあるが、個々の観光名所や物産品は広く知られているにもかかわらず、一般的に他県からみた富山の印象は薄い。強いてあげれば、「豪雪地帯」、「日本海側の地味な県」といったネガティブなイメージが先行しているように思われる。

### 1. 「財産目録」作成の試み

- 平成13年度以降、富山は何を伝えることができるのか、自分では気付いていない富山の魅力を再発見するとの観点から「知られざる財産目録」作成にチャレンジした。作成に際しては富山経済同友会会員並びに転勤族で既に富山を離れている元会員へのアンケート調査を行うなど極力広く意見を求める努力を行った。
- 作成結果は以降に要約するが、当初県民すら気付かない「知られざる財産目録」作成を企図して意気込んで作業に入った割りには、自然、文化、生活環境をといったジャンルを中心に、大宗の意見は一般的に相当程度認知されている、いわば想像の範囲内のものに止まるかたちとなり、「アンケートによる財産目録リスト」は作成したものの、既に認知済の「財産」を体系的にリストアップするかたちに終わった。「知られざる財産目録」というよりはむしろ「知られている財産の再確認目録」の域を出ず、富山の魅力の掘り起こしというよりは、むしろ富山の魅力の再認識に止まるものとなった。

### 2. 会員アンケートによる財産目録リスト

- 会員に対し、富山の魅力（素材）についてどのように考えているかアンケートを実施した。アンケートの概要は以下のとおりである。

①実施期間 平成12年10月31日(火)～平成12年11月21日(火)

②回答数 89名(回答率30%) [地元の方58名、地元外の方31名]

[アンケート対象会員297名(平成12年10月23日現在在籍の会員に対し実施)]

③アンケート項目

a. 素材リストより5つまで選択

・分野 : 23分野

自然 (11分野)	1:自然(総括)、2:山、3:川、4:花(種類別)、5:庭園、6:樹木、7:森林浴の森、8:名水、9:滝、10:湖沼、11:海岸
味覚 (3分野)	12:海の幸、13:野山の幸、14:食料品(加工品)
伝統工芸 (1分野)	15:伝統工芸等
建造物等 (2分野)	16:歴史的建造物等、17:旧跡・遺跡
祭り (2分野)	18:祭り(伝統)、19:イベント
施設 (4分野)	20文化施設、21:公園・植物園、22:温泉、23:交通等

b. 自由意見

④集約結果 参考資料「アンケートによる財産目録リスト」参照

- ・財産目録リストを見てみると、どの分野においても、通常知られている（一般的に認知されている）もの以外で、会員の認知度が高い素材はほとんどなかったように思われる。また、地元の方と転勤族の方においても、著しい違いは見られなかった。

### 3. 転勤族元会員からの「富山の魅力」に関する意見

- ・県民でさえ気づいていない富山の魅力を把握するにあたっては、転勤族（いわゆる“旅の人”）の意見が最も言い当てているのではないだろうか。転勤族は、県外から来たが故に、富山県と他県との違いを実感していることであろう。転勤族の意見の中には富山の魅力を言い当てているものがあるのではないか。
- ・こうした想定のもと、会員に対するアンケートと同時期に、富山経済同友会の元会員で過去3年以内に交替等により県外に転勤された方に対し、富山の魅力に関するアンケートを実施した。アンケートの概要は以下のとおりである。

①実施期間 平成12年11月2日(木)～平成12年11月24日(金)

②回答数 10名(回答率22%) [アンケート対象元会員45名]

③アンケート項目

a. 「富山の魅力」についての自由意見

- ・富山の自然・文化等といった魅力、富山のここが良かったと感じられた点、ここをアピールしたらよいのではないかとといった点等について

④集約結果 参考資料『富山の魅力』に関する意見 参照

- ・アンケート結果をみてみると、転勤族に共通する声として、富山の魅力は、まず何といても「自然」にあり、また「生活環境」いわゆる「暮らしまわり」の良さにあることを訴える声が非常に大きかった。

#### (1) 豊かな自然—日本の中でも“自然資源”の多い富山

- ・アンケートでは、「自然」については“山・川・海”と“水・空気・緑”といった自然そのものが一定地域内（広くもなく、狭くもない）に見事なまでに調和がとれ、バランスよく備わっていることに満足していることをあげている人が圧倒的に多い。

すなわち、富山県民が誰でも当然のごとく日常の中で受け入れている“豊かな自然、澄みきった空気、おいしい水（深層水も含む）、新鮮な食べ物”等の素材に、転勤族は気づいていると言えよう。

- ・「富山には天賦の豊かな自然の恵みがある」ことは、富山県に住んでいる人や住んだことのある人なら必ず感ずることである。しかしながら、居住経験のない人（県外の人）はどう思っているか、あるいは客観的にどのような評価が得られているのかは曖昧である。

- ・客観的に評価されたものの一つとして、「財団法人日本交通公社 観光資源評価台帳」（2000年3月）があり、これによれば、富山は全国においても豊かな自然、観光資源と言われるもののうち特に“自然資源”が多いことがみてとれる。

なお、自然資源の地理的な分布状況を見ると、都道府県別にはやはり広大な北海道が圧倒的に多い。これに、長野、富山、福島と続いている。一方、人文資源では、京都を筆頭に奈良、東京などに集積がみられる。

[参考資料「観光資源について」参照]

## (2) 暮らしまわりの良さ

- ・アンケートでは「生活環境」、すなわち衣食住や教育環境、就業機会等の「暮らしまわり」に恵まれていることをあげている人も非常に多い。

- ・よく言われていることではあるが、持ち家率あるいは住宅延べ面積の広さに代表されるとおり富山の家のゆとりさには目を見張るものがあると言えよう。また、就業機会に恵まれていること、教育環境が十分に整備されていることは各種指標によっても伺うことができる。

[参考資料「暮らしまわりの良さについて」参照]

(「富山がわかる本」(平成12年3月31日 富山県統計課・富山県統計協会編)より作成)

- ・一方で、他県の人には、富山の冬は雪が非常に多く生活が不便なのではないかと思われているところがある。確かに、過去昭和38年、52年、56年と大雪に見舞われ、また59～61年は3年連続の大雪となった。また、昨冬大雪に見舞われたのも記憶に新しいところである。

しかしながら、実際に富山で生活する者にとって、雪によって生活に不便さを感じずることは徐々に少なくなってきているのではないか。道路の除排雪は平年並みの降積雪に対しては、十分対応できるまでになっており、何と云ってもこの雪のおかげで富山の豊かな水、おいしい水は生まれてきているのである。

## 4. 財産目録作成を通じた感想

- ・「隠しておきたい小都会—富山」で提言された第1ステップに沿い「知られざる財産目録」の作成にチャレンジしたものであるが、本章1. で述べたとおり、調査結果は「アンケートによる財産目録リスト」に見られるように、これまで私たちの多くが何となく感じてきた富山が持つ魅力を体系的に再整理した域を出るものではなかった。

- ・しかしながら、転勤族が富山に来て初めて体験する富山での生活環境、なかんずく自然環境が彼らにとって極めて「驚き」であり、「知らなかった」ものであることもまた事実であり、富山を初めて知る者、富山に初めて住まう者にとって富山はまさに「知られざる財産」の宝庫であることも事実である。

- ・富山人にとって必要なことは果たして富山の魅力をさらに掘り下げることなのだろうか、むしろ既にある魅力を常時再認識することで富山に暮らすことの幸せを感じ続け、富山に暮らすことの自信と誇りを常に持ち続けてゆくことではなかろうか。こうした思いが財産目録作成作業を通して強く意識されるに至った。ただし、これまでのように富山に住まう人たちが、また富山での生活体験を持つ者達だけがその素晴らしさを一人占めし、隠しておいて良いかと言えばそうではなかろう。

- ・「21世紀は環境の世紀」と言われるが、これだけのすばらしい自然環境と暮らし回りに恵まれた地域は国内には希少であり、この環境を日本国民の積極的な共有財産とする努力、またその魅力を守り後世に伝えてゆく努力はこの地域に住まう者の使命とも言えるのではなかろうか。

そのために必要なことは富山に住まう者達が、自分たちの住まう富山の魅力を常に再認識しつつ、地域の子供たちの心へ、また全国の人々の心に、その魅力を強く訴えかける努力を続けることであろう。それがすぐに観光客の誘致に繋がらなくとも、またそれがすぐに県外からの定住者誘致に繋がらなくともである。

- ・「隠しておきたい小都会ー富山」で提言されたように「ハードの充実で活性化」するステージには終止符を打つべきであるし、時代はまさに「人の魅力で活性化」への流れにある。同提言で指摘されているように「人」の手で、「小さくとも感動を与える街」にしてゆくためにはまずもってそこに住まう者達はその街の持つ魅力を再認識し、その感動を地域に住まう子供たちへ自信を持って伝えてゆける土壌作りも必要であろう。
- ・富山に今ある“自然環境”なり“暮らしまわり”なりの魅力があり続ける限りは、そして富山に住まう者たちがその魅力を日々感じながら生きている限りは、富山はいつでも人の魅力で活性化できる資質を抱えているのである。

## 5. 富山の魅力を人の心に訴える

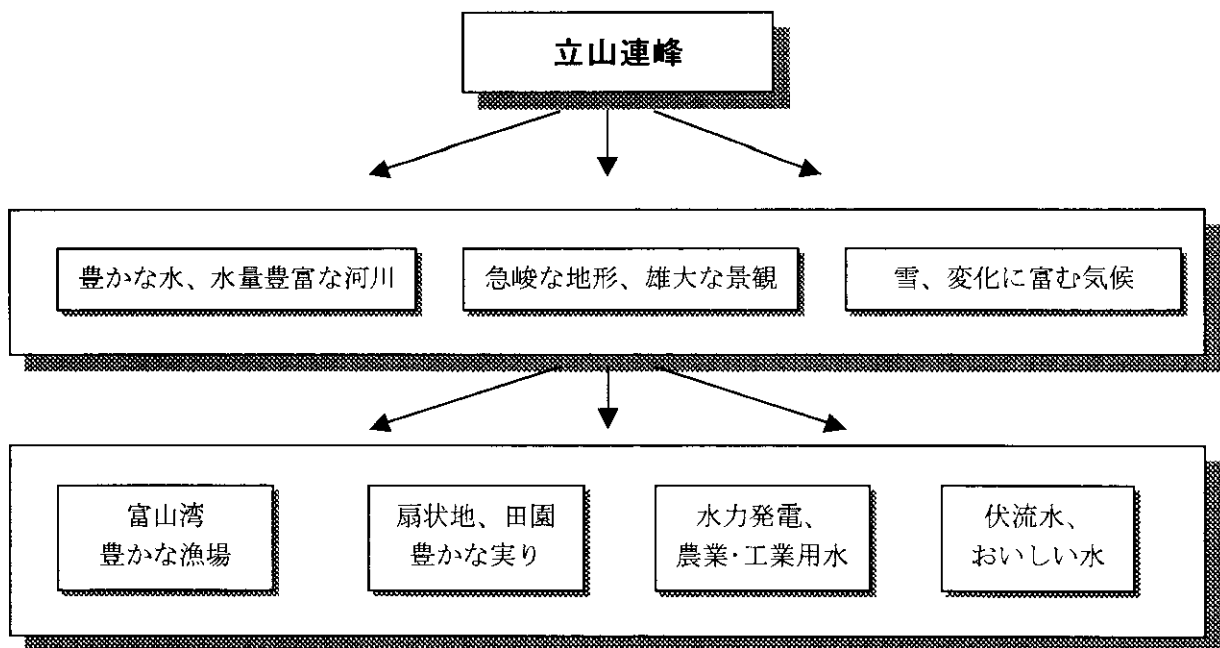
- ・富山の持つ魅力を積極的な国民の共有財産としてゆく努力との観点からは体系化して再認識されたものを凝縮して伝えてゆく努力が不可欠となろう。  
「歴史の街京都」「食い倒れの大阪」「港町横浜、神戸」「夜景の函館」「異国情緒の長崎」「坂本竜馬の高知」「西郷隆盛の鹿児島」「火の国熊本」「阿波踊り徳島」「七夕の仙台」「加賀百万石の金沢」「富士山の静岡」「十和田、奥入瀬の青森」等々、人の心に強く訴えかけるためには、何がしか強烈なイメージを投げかけることが肝要である。  
もちろん「売薬の富山」「ます寿しの富山」はあろうが、それらは必ずしも富山の魅力を凝縮したものではない。富山が持つ魅力を人の心に強く訴えるためには、何がしかのアイデンティティーの絞り込みが必要となる。
- ・当会は昨年9月に、アイルランド、イギリスの2か国において経済情勢を視察した。アイルランドではダブリン、イギリスではエディンバラ、リバプール、チェスター、そしてロンドンの諸都市における「まちづくり」も主要なテーマとして視察してきたものであるが、特にダブリン、エディンバラは、IT関連産業の活躍が目覚しく、企業誘致も進んでいるところであると同時に、いずれの都市も豊富な観光資源、あるいは地場産業・伝統産業を活かしたまちづくりに積極的に取り組んでいた。  
この視察を通じて、ダブリン（アイルランド）はやはり“ギネス”であり、エディンバラ（スコットランド）はやはり“スコッチ”であるというように、その都市における魅力が必ず何がしかに凝縮されており、それをいかに訴えていくかにその都市の魅力がかかっていることを視察した誰もが感じてきた。
- ・以上のとおり、その“まち”におけるアイデンティティーを絞り込みことは、“魅力あるまちづくり”を考えていく上で必要不可欠であることは確かであると言えよう。したがって、次章では「富山の魅力の絞り込み」について考えたい。

## Ⅲ. 富山の魅力の絞り込みー富山のアイデンティティーとは

### 1. 富山の魅力の源泉ー“立山（立山連峰）”

- ・前章では富山の魅力について述べてきた。ただ、「富山の魅力は自然にある」と言っても、日本全国どこの都道府県でも同じ趣旨のことを謳っているのが実態である。また、自然といっても山もあれば川もあり、花もあれば樹木もあり、水といっても名水、滝、湖沼など千差万別である。では、富山はどこが違うのか。ここで、富山の独自性、富山らしさをアピールするためにも、富山の“自然の源泉”が何であるか、それを訴えていくことが必要だと思われる。

- ・地理的には富山県は日本列島のほぼ中央に位置しており、標高 3000 メートル級の立山連峰が県内のいたるところから眺めることができ、目の前には水深 1000 メートルを超える富山湾の深海がある。このように高低差が 4000 メートルもある土地は日本の中でもなかなかないと言われている。  
また、富山は四季がとてはっきりしており、冬の雪の大変さ（最近はや暖冬であまり大変ではないところでもあるが）を指摘する一方で、春の喜びのすごさを「豊饒の春」という言葉で表現される方もいるほどである。  
あるいは、富山県には全国名水百選にも 4 か所選定されている等、水のおいしさをあげる人も多く、紅葉で美しい黒部峡谷や落差日本一の称名滝など美しい自然を賞賛する方も多い。また、山岳地帯に源を発する水量豊かな河川、そして山地から流れ出た川が扇状地あるいは田園を形成している富山を概観してみると、これら豊かな自然の源は、まさしく“立山（立山連峰）”であると言えるのではないだろうか。
- ・こうして富山の魅力の源泉は何かを考えてみた時、それは“立山（立山連峰）”にあると言えよう。富山に自然資源が豊富にあるのも、もとをただせば、立山連峰の存在に負うところが大きい。
- ・富山湾から立山連峰を眺めた時、富山の魅力が一目にわかると言われるのも富山に住んだことのある人であれば納得されるに違いない。



- ・富山の魅力の源泉が「立山連峰」にあるということは、富山に住まう者達にとっては至極当たり前の帰結であるかも知れないが、通勤族に言わせれば「富山に来るまで立山が富山県にあるとは知らなかった」との声が過半であることもまた一方の事実である。  
「立山という名の山が無いことは知らなかった」程度はかわいい無知と言いつけられようが、立山が長野県や岐阜県や新潟県の財産だと誤解されていることは富山人として断固許してはならない。  
富山の魅力の源泉であり、富山にとってのアイデンティティーである「立山連峰」こそが富山に住まう者にとっての究極の財産であり、日本国民があまねく共有すべき日本を誇る自然環境であるとの認識と自信をしっかりと持つことが、富山が「人の魅力で活性化」してゆくための精神的な基点となるのではないだろうか。



## ■立山について

- ・立山は富士山、白山と並ぶ日本三霊山のひとつとされ、山岳信仰の聖地だった。昔、タチヤマ（そびえ立つ山）と呼ばれ、神のあらわれでる山として敬われ、安楽往生を願う人々が全国各地からやってきて登拝した霊山である。
- ・立山の開山縁起や伝承では、平安初期に越中の国司であった佐伯有若(アリカ)の子、有頼(アリヨ)・慈興上人が立山を開いたとされる。
- ・立山は、伝承によると701年の開山と伝えられており、平成13年は、立山開山1300年周年にあたった。

### [立山開山伝説]

地元の伝承などでは、701(大宝元)年、越中の国司佐伯有若の子、有頼が父の愛用の白タカで狩りをしていたが見失ってしまう。

深山に分け入るとクマに襲われ、有頼は弓矢でクマを射た。手負いのクマを追跡したところ、クマは玉殿の岩屋に入り、阿弥陀如来となった。

有頼は如来の教令により僧となり、慈興と名乗って立山を開いたという。

- ・万葉の歌人 大伴家持が越中守として赴任したのは天平18年(746年)のことであった。その後、天平勝宝3年(751年)に少納言に遷任して、上京するまでの5年の越中守時代に、家持は歌を223首詠んでいる。その中で、“立山”を詠み込んで残した歌は次の2首であった。

たちやま 立山に 降り置ける雪を ところなつ 常夏に 見れども飽かず 神からならし (4001)

たちやま 立山の 雪し消らしも ほひつき 延槻の 川の渡瀬 燈浸かすも (4024)

[出典：越中万葉歌碑めぐり(高岡市万葉歴史館編)]

- ・“立山”というのも、雄山(標高3003メートル)、大汝山(3015メートル)、富士の折立(2999メートル)の総称で、その両脇を固める別山(2880メートル)、浄土山(2831メートル)とあわせ「立山三山」と呼ばれている。立山三山を中心に、左手には岩峰の鋭い劔岳(2998メートル)、右手には龍王岳(2872メートル)、鬼岳(2750メートル)、獅子岳(2714メートル)等が連なり、大らかな山体の薬師岳(2926メートル)が優美なスカイラインを描いている。そして、立山連峰はこれら山脈全体を指す。
- ・また、富山県立山町から黒部ダムなどを経て長野県大町市に至る「立山黒部アルペンルート」は、平成13年6月に全線開業30周年を迎えた。

## IV. 富山の魅力の発信—まず出来ることから始めよう“立山大使”

- ・「知られざる財産目録」作成プログラムの過程の中で、富山に在住された経験のある方なら共通認識として持たれる富山の魅力について再確認することができた。また、富山の「アイデンティティー」の絞り込みにあたっては、「富山の魅力の源泉は“立山(立山連峰)”である。」ということが一致した意見であった。
- ・しかしながら、富山の魅力をどの程度全国の方に理解していただいているかは疑問である。(例えば、我々が富山の魅力の源泉であると考え“立山(立山連峰)”が富山県にあるといったことさえ他県の方がどの程度認識しているかどうか疑わしいとの意見も出された。)

- ・このプログラムを通じ、富山の魅力の再認識といった課題はほぼ達成できたと考えるが、次のステップとして必要なのは、この富山の魅力をいかにして全国の多くの方々に理解していただけるかにあると言えるのではないだろうか。
- ・したがって、富山の魅力を全国に向けて発信し、富山についてより多くの方々に知っていただくため、富山経済同友会では、この度富山の魅力のPRならびに富山のイメージ向上に努める「立山大使」制度を創設することとし、今後、この「立山大使」の活動も含め、「行動する同友会」として富山の魅力の発信に務めていくこととしたい。  
 なお、立山大使の“立山”は、富山の魅力の源泉は“立山（立山連峰）”にあるとの認識に基づくものである。

## ■「立山大使」について

### 1. 趣旨

- ・富山の自然、文化等の魅力を深く理解し県内外へ発信するとともに、富山のまちづくりにあたり、「小さくとも感動を与える街」「富山らしい活性化」を目指し、意欲と勇気をもって行動する。

### 2. 資格・要件

- ・富山経済同友会の会員のうち「立山大使」の趣旨に賛同される方。

### 3. 委嘱

- ・「立山大使」は、富山経済同友会代表幹事が委嘱する。

### 4. 行動内容

- ・富山の魅力、富山の良さの県内外でのPR
  - ・富山のイメージアップを図るための県内外への情報発信、情報提供
  - ・富山のまちづくりの実行あるいはサポート（アイデアならびに情報提供）
- なお、立山大使は、富山の魅力のPR等にあたり、常日頃より富山について、より深く理解するための自己研鑽を心がけるものとする。

### 5. 名刺の活用

- ・「立山大使」は、常に立山大使の名刺を携帯し、富山のPRの際に活用する。

### 6. その他

- ・富山経済同友会は、立山大使の活動にあたり、富山県観光連盟他諸団体、諸企業等との情報の共有化に努め、緊密に連携活動を行っていくものとする。

## V. おわりに

- ・今回、「知られざる財産目録」作成プログラムの過程で、すでにある魅力(素材)を、新しい視線で捉え直すよう努めてきた。それは、今まで気づくことのなかったものでも、その良さを再認識できるのではないかと考えたからにはほかならない。
- ・富山の魅力を体系的に把握し、再構築するといっても、この作業はなかなかむずかしい作業であった。と同時に、富山経済同友会のひとりよがりになるのではないかと意見も出された。

- ・ 今後は、富山が有する個々の魅力＝素材に対して、体系的に組み合わせ方を考えていくことにより（再発見した素材としての魅力を組み合わせる）、新たな魅力を創造できないか考えていくことが必要である。富山の魅力を横（＝面的）につなげていくことも必要であり、市町村毎の縦割りではなく、魅力を相互に連携させていくことが求められる。
- ・ 富山経済同友会は、今回、会員自ら「立山大使」となって富山の魅力の発信に努めることを唱えた。今後は、立山大使個人々の活動を通じてはもちろんのこと、「富山の魅力」を最大限に活用し、個性ある自立した魅力あるまちづくりに向け、「行動する同友会」として活動していくこととしたい。
- ・ 今回の取りまとめは「この指とまれ委員会」正副委員長会議の場で「折角であれば今年4月に開催される全国経済同友会セミナーの場で、“立山大使”の名刺を配るべき」との意見が出たこともあり、急遽、第15回全国経済同友会セミナーに間に合わせるべく取りまとめを行ったものである。  
したがって、富山経済同友会の各会員はもとより、この指とまれ委員会の各メンバーの意見をも充分に取り込めなかった点、大変申し訳なく、この場を借りて深くお詫びをする次第である。

以 上

# 参考資料

[アンケートによる財産目録リスト](アンケート結果による上位10位)

## 1. 自然(総括) [素材数:44]

素材	
雲気楼	(魚津市)
五箇山	(平村、上平村)
黒部峡谷	(宇奈月町)
立山黒部アルペンルート	(立山町)
立山	(立山町)
称名滝	(立山町)
散居村	(砺波市)
劔岳	(上市町)
ほたるいか	(滑川市)
有峰湖	(大山町)

## 2. 山 [素材数:30]

素材	
劔岳	(上市町)
雄山(立山)	(立山町)
薬師岳	(大山町)
大汝山(立山)	(立山町)
白馬岳	(朝日町)
奥大日岳	(大山町)
鹿島槍ヶ岳	(立山町、宇奈月町)
浄土山	(立山町)
別山	(立山町)
黒部五郎岳	(大山町)

## 3. 川 [素材数:33]

素材	
黒部川(黒部四十八カ瀬(暴れ川))	
庄川(万葉集「雄神川」、砺波平野、松川除(堤防))	
神通川	
常願寺川	
松川(松川ベリ彫刻公園)	
いたち川(延命地蔵)	
早月川(名山「劔」の水を集める屈指の急流河川)	
片貝川(片貝川源流近く「洞杉」の群生地)	
小矢部川	
清水川(ゲンジホタル、トミヨ生息地、アシツキ群生地)	
万尾川(十二町湯、イタセンバラ生息地、オニバス群生地)	

## 4. 花 [素材数:59]

素材	
桜(機部・松川堤)	(富山市)
チューリップ(砺波チューリップ公園)	(砺波市)
梨(呉羽丘陵)	(富山市)
桜(高岡古城公園)	(高岡市)
ミスバショウ(縄ヶ池)	(城端町)
桜(呉羽山)	(富山市)
コスモス(夢の平)	(砺波市)
ハナショウブ(頼成の森)	(砺波市)
ニッコウキスゲ(白木峰)	(八尾町)
アジサイ(太閤山ランド)	(小杉町)

## 5. 庭園 [素材数:24]

素材	
富山県水墨美術館庭園	(富山市)
内山邸庭園	(富山市)
国泰寺庭園	(高岡市)
瑞泉寺庭園	(井波町)
高岡市万葉歴史館庭園	(高岡市)
護国寺庭園	(朝日町)
光久寺茶庭	(氷見市)
富山能楽堂庭園	(富山市)
城端別院善徳寺庭園	(城端町)
「円山庵」茶庭(富山市民族芸村)	(富山市)

## 6. 樹木 [素材数:26]

素材	
立山スギ(美女平)	(立山町)
ブナ(ブナ坂のブナ林)	(立山町)
モミ(立山寺参道のとが並木)	(上市町)
杉(芦峯雄山神社境内杉林)	(立山町)
イチヨウ(上日寺のイチヨウ)	(氷見市)
松(浜黒崎の松並木)	(富山市)
杉(杉沢の沢スギ)	(入善町)
トチ(利賀のトチノキ)	(利賀村)
松(専念寺の傘松)	(新湊市)
ツバキ(老谷の大ツバキ)	(氷見市)

## 7. 森(森林浴) [素材数:54]

素材	
有峰	(大山町)
立山美女平	(立山町)
呉羽丘陵	(富山市)
県民公園頼成の森	(砺波市)
称名溪谷	(立山町)
古洞森林水公園	(富山市)
二上山	(高岡市)
太閤山ランド	(小杉町)
馬場島	(上市町)
医王山	(福光町)

## 8. 名水 [素材数:40]

素材	
富山湾の深層水	
穴の谷の霊水	(上市町)
立山玉殿の湧水	(立山町)
生地の共同洗い場	(黒部市)
大岩山日石寺の藤水	(上市町)
石倉町の延命地蔵の水	(富山市)
弓の清水	(高岡市)
瓜裂清水	(庄川町)
清水の里	(黒部市)
不動滝の霊水	(井波町)
弘法大師の清水	(上市町)

## 9. 滝 [素材数:36]

素材	
称名滝	(立山町)
ソーメン滝	(立山町)
ハンノキ滝	(立山町)
劔大滝	(立山町)
常虹の滝	(細入村)
一の滝	(小矢部市)
不動滝	(立山町)
三段の滝	(庄川町)
龍神の滝	(大山町)
岩室の滝	(立山町)
不動滝	(井波町)

## 10. 湖沼 [素材数:21]

素材	
有峰湖(雲峰薬師岳)	(大山町)
田尻池(オオハクチョウ)	(富山市)
黒部湖	(立山町)
高岡古城公園水濺(コブハクチョウ、コハクチョウ)	(高岡市)
縄ヶ池(ミスバショウ)	(城端町)
立山山岳湖沼(池塘群等)	(立山町)
十二町湯(淡水魚イタセンバラ、オニバス)	(氷見市)
庄川のダム湖(庄川用水合口、小坂、祖山、小原ダム)	(庄川町、利賀村、平村、上平村)
古洞の池	(富山市)
桜ヶ池(「自遊の森」)	(城端町)

## 11. 海岸 [素材数:13]

素材	
雨晴海岸(伝説の義経岩)	(高岡市)
宮崎海岸(ヒスイの原石)	(朝日町)
灘浦海岸(灘浦沖の虹が島と立山連峰)	(氷見市)
浜黒崎・岩瀬浜(松並木、古志の松原)	(富山市)
魚津海岸(富山湾上に浮かぶ雲気楼)	(魚津市)
滑川海岸(ホタルイカ、深層水)	(滑川市)
松田江の長浜(クロマツ林と白砂)	(氷見市)
奈呉の浦(「万葉集」)	(新湊市)
入善海岸(入善吉原沖の海底林)	(入善町)
生地海岸(地曳網)	(黒部市)

## 12. 海の幸 [素材数:35]

素材	
シロエビ	春
ブリ	冬
ホタルイカ	春
甘エビ	冬
バイ貝	夏
ベニズワイガニ	冬
ベニズワイガニ	春
タラ	冬
マグロ	夏
ヤリイカ	冬

13. 野山の幸 [素材数:20]

素材	
呉羽梨	
富山干柿	
入善ジャンボ西瓜	
魚津りんご	
水島柿	
すすたけ	
たけのこ	
さといも	
みょうが	
いちじく	

14. 食料品(農水産加工品) [素材数:18]

素材	
鱈のすし	
氷見うどん	
昆布じめ	
かまぼこ	
黒作り	
大門そうめん	
かぶら寿し	
五箇山とうふ	
甘塩スルメ	
みりん干し	

15. 伝統工芸、地場産業等 [素材数:18]

素材	
とやまの葉	(富山市ほか)
井波欄間・彫刻	(井波町)
高岡銅器	(高岡市)
越中八尾和紙	(八尾町)
五箇山和紙	(平村)
高岡漆器	(高岡市)
越中瀬戸焼	(立山町)
庄川挽物木地	(庄川町)
立山ひょうたん	(立山町)
養蠶	(福岡町)

16. 世界遺産、国宝、文化財、歴史的建造物等 [素材数:48]

素材	
国宝瑞龍寺	(高岡市)
世界遺産 相倉合掌集落	(平村)
瑞泉寺	(井波町)
世界遺産 菅沼合掌集落	(上平村)
長慶寺五百羅漢	(富山市)
高岡大仏	(高岡市)
北前船回船問屋「森家」	(富山市)
大岩山日石寺	(上市町)
岩瀬家(五箇山最大の合掌造り)	(上平村)
富山県民会館分館「内山邸」(藩の大庄屋)	(富山市)

17. 旧跡、遺跡等 [素材数:26]

素材	
桜町遺跡	(小矢部市)
高岡城跡	(高岡市)
大境洞窟遺跡	(氷見市)
桜谷古墳(4~5世紀の前方後円墳、円墳)	(高岡市)
柳田布尾山古墳	(氷見市)
俱利伽羅源平古戦場	(小矢部市)
安田城跡	(婦中町)
朝日貝塚遺跡	(氷見市)
高瀬遺跡(奈良時代から平安初期の東大寺荘園荘屋跡)	(井波町)
松倉城跡	(魚津市)

18. 祭り(伝統) [素材数:60]

素材	
おわら風の盆	(八尾町)
高岡御車山祭	(高岡市)
城端むぎや祭	(城端町)
山王まつり(日枝神社大祭)	(富山市)
岩瀬曳山車祭(けんか山)	(富山市)
たてもん祭り	(魚津市)
夜高祭(曳山)	(福野町)
やんさんま祭り(流鏝馬)	(下村)
高岡七夕まつり	(高岡市)
伏木曳山祭(けんか山)	(高岡市)
新湊曳山まつり	(新湊市)
つくりもんまつり	(福岡町)

19. イベント [素材数:50]

素材	
砺波チューリップフェア	(砺波市)
全日本チンドンコンクール	(富山市)
越中万葉夢幻譚	(高岡市)
利賀フェスティバル・演劇祭	(利賀村)
高岡万葉まつり「万葉集全20巻朗唱の会」	(高岡市)
利賀そば祭り	(利賀村)
井波彫刻まつり	(井波町)
ふちゆう曲水の宴(平安絵巻)	(婦中町)
日本海高岡なべ祭り	(高岡市)
頼成の森 花しょうぶ祭り	(砺波市)

20. 文化施設 [素材数:66]

素材	
富山県水墨美術館	(富山市)
富山県立近代美術館	(富山市)
富山市芸術文化ホール「オーバード・ホール」	(富山市)
立山カルデラ砂防博物館	(立山町)
高岡市万葉歴史館	(高岡市)
富山県「立山博物館」	(立山町)
宇奈月国際会館・「セレネ美術館」	(宇奈月町)
富山ガラス工房	(富山市)
富山市科学文化センター	(富山市)
魚津埋没林博物館	(魚津市)

21. 公園・植物園 [素材数:31]

素材	
高岡古城公園	(高岡市)
県民公園 太閤山ランド	(小杉町)
海王丸パーク	(新湊市)
砺波チューリップ公園	(砺波市)
富岩運河環水公園	(富山市)
城址公園(富山城)	(富山市)
富山県中央植物園	(婦中町)
富山市ファミリーパーク	(富山市)
県民公園自然博物館「ねいの里」	(婦中町)
城山公園(白鳥城)	(富山市)

22. 温泉 [素材数:78]

素材	
宇奈月温泉	(宇奈月町)
大牧温泉	(利賀村)
小川温泉元湯	(朝日町)
みくりが池温泉	(立山町)
鐘釣温泉	(宇奈月町)
地獄谷温泉	(立山町)
庄川温泉郷	(庄川町)
山田温泉	(山田村)
雨晴温泉	(高岡市)
金太郎温泉	(魚津市)
氷見阿尾の浦温泉	(氷見市)

23. 交通等 [素材数:12]

素材	
トロッコ電車(黒部峡谷鉄道)	(宇奈月町)
立山黒部アルペンルート(ケーブルカー、高原バス、ロープウェイ等)	(立山町)
市電	(富山市)
庄川峡(舟戸)湖上遊覧船	(庄川町)
松川遊覧船	(富山市)
万葉線	(高岡市)
黒部湖遊覧船	(立山町)
合掌大橋	(上平村)
後曳橋(トロッコ電車 黒薙駅近く)	(宇奈月町)
越の渦渡し舟	(新湊市)

[アンケートによる財産目録リスト(市町村別)] (アンケート結果上位のもの)

No.	市町村	自然										建造物等		祭り		施設			
		自然(総括)	山	花	庭園	樹木	森(森林浴)	名水	滝	湖沼	海岸	歴史的建造物他	旧跡他	祭り(伝統)	イベント	文化施設	公園他	温泉	交通等
1	富山市			桜(磯部・松川堤) 梨(呉羽丘陵) 桜(呉羽山)	富山県水墨美術館庭園 内山邸庭園 富山能楽堂庭園 円山庵茶庭	松(浜黒崎の松並木)	呉羽丘陵古洞森林水公園	石倉町の延命地藏の水		田尻池 古洞の池	浜黒崎・岩瀬浜	長慶寺五百羅漢 北前船回船問屋「森家」 内山邸		山王まつり 岩瀬曳山車祭	全日本ソフトコンクール	富山県水墨美術館 富山県立近代美術館 オーバートホール 富山カラス工房 富山市科学文化センター	富岩運河環水公園 城址公園 富山市ファミリーパーク 城山公園(白鳥城)		市電 松川遊覧船
2	高岡市			桜(高岡古城公園)	国楽寺庭園 高岡市万葉歴史館庭園		二上山	弓の清水		高岡古城公園水漾	雨晴海岸	国宝瑞龍寺 高岡大仏	高岡城跡 桜谷古墳	高岡御車山祭 高岡七夕まつり 伏木曳山祭	越中万葉夢幻譚 高岡万葉まつり・万葉集朗唱の会 日本海高岡なべ祭り	高岡市万葉歴史館	高岡古城公園	雨晴温泉	万葉線
3	新湊市					松(尊念寺の森松)					奈呉の浦			新湊曳山まつり			海王丸パーク		越の海渡し舟
4	魚津市	蟹気楼									魚津海岸		松倉城跡	たてもん祭		魚津埋没林博物館		金太郎温泉	
5	氷見市				光久寺茶庭					十二町湯	瀧浦海岸 松田江の長浜		大境洞窟遺跡 柳田布尾山古墳 朝日貝塚遺跡					氷見阿尾の浦温泉	
6	滑川市	ほたるいか									滑川海岸								
7	黒部市							生地の共同洗い場 清水の里			生地海岸								
8	砺波市	敷居村		フェリーパーク(砺波フェリーパーク公園) ユース(夢の平) パシオパーク(頼成の森)			県民公園頼成の森								砺波フェリーパークフェスティバル 頼成の森花しょうぶ祭り		砺波フェリーパーク公園		
9	小矢部市								一の滝				桜町遺跡 俱利伽羅源平古遊場						
10	大沢野町							殿様清水			神通川のダム湖							春日温泉郷	
11	大山町	有峰湖	薬師岳 奥大日岳 黒部五郎岳																
12	舟橋村																		
13	上市町	剱岳	剱岳					六の谷の霊水 大岩山日石寺の隠水 弘法大師の清水					無量寺 大岩山日石寺						
14	立山町	立山黒部7カ所ルート 称名滝 立山	雄山(立山) 大汝山(立山) 鹿島槍ヶ岳 浄土山 別山			立山杉(美女平) ブナ(ブナ坂のブナ林) 杉(芦峯雄山神社)	立山美女平 称名溪谷	立山玉殿の湧水	称名滝 ソノメ滝 ハンノキ滝 鯛大滝 不動滝 岩室の滝	黒部湖 立山山岳湖沼						立山カルデラ砂防博物館 富山県「立山博物館」		みくりが池温泉 地獄谷温泉	立山黒部7カ所ルート 黒部湖遊覧船
15	宇奈月町	黒部峡谷	鹿島槍ヶ岳													宇奈月国際会館・「トレ美術館」		宇奈月温泉 鐘釣温泉	トロッコ電車 後曳橋
16	入善町										入善海岸 宮崎海岸							小川温泉元湯	
17	朝日町		白馬岳		護国寺庭園														
18	八尾町			ニッコウキスゲ(白木峠)											おわら風の盆				
19	婦中町												安田城跡		婦中曲水の宴		富山県中央植物園 ねいの里		
20	山田村														牛岳スノーフェスタ			山田温泉	
21	細入村																	神通峽岩稲温泉	
22	小杉町			アサギ(太閤山ランド)			太閤山ランド										県民公園太閤山ランド		
23	大門町																		
24	下村														やんさんまつり				
25	大島町																		
26	城端町			ミズハシヨウ(縄ヶ池)	城端別院善徳寺庭園						縄ヶ池 桜ヶ池				城端むぎや祭				
27	平村	五箇山																	
28	上平村	五箇山										相倉合掌集落 菅沼合掌集落 岩瀬家							合掌大橋
29	利賀村										庄川のダム湖				利賀フェスティバル・演劇祭 利賀そば祭り			大牧温泉	
30	庄川町							瓜裂清水 不動滝の霊水	三段の滝 不動滝	庄川のダム湖								庄川温泉郷	庄川郷湖上遊覧船
31	井波町				瑞泉寺庭園							瑞泉寺	高瀬遺跡		井波彫刻まつり いのくち樺まつり				
32	井口村	赤祖父山																	
33	福野町																		
34	福光町						医王山										棟方志功記念館 「愛染菰」		
35	福岡町														つくりもんまつり		とやま・ふくおか家族旅行村		

## 『富山の魅力』に関するアンケート（転勤族元会員）

### ■過去3年以内に交替等された転勤族元会員を対象（富山県外に在住の方を対象）

(1)実施期間 平成12年11月2日(木)～平成12年11月24日(金)

(2)回答数 10名（回答率 22%）[アンケート対象転勤族元会員45名]

○ご回答いただいた方（敬称略）

氏名(五十音順)	アンケート回答時会社役職名	当会在籍時	交替時期
阿部 享二	第一勧業銀行四谷支店長	第一勧業銀行富山支店長	H10.5
亀岡 哲也	電源開発㈱審査室長	電源開発㈱北陸支社長	H11.8
岸野 努	日本政策投資銀行ニューヨーク事務所長	日本開発銀行富山事務所長	H11.7
北村 典	㈱NTTドコモ東海総務部担当部長	西日本電信電話㈱富山支店長	H12.4
空閑 重信	筑豊銀行取締役総合企画部長	日本銀行富山事務所長	H11.2
清水 征四郎	世紀東急工業㈱常勤監査役	三菱商事㈱北陸支店長	H11.6
野原 英俊	三井物産㈱検査役室検査役	三井物産㈱北陸支店長	H11.9
菱野 隆房	水野ハンディエー・ホームズ㈱社長付	伊藤忠商事㈱富山支店長	H10.5
吉村 清一	㈱福井ファミリー代表取締役社長	福井銀行富山支店長	H11.4
若林 栄	㈱北国ソリューションズ取締役	北国銀行富山支店長	H10.5

(3)アンケート項目 ①「富山の魅力について」の自由意見

・富山の自然・文化等といった魅力、富山のここが良かったと感じられた点、ここをアピールしたらよいのではないかと  
いった点等について

(4)集約結果 集約資料のとおり

■『富山の魅力』に関する意見（県外在住の転勤族元会員）

<p>富山の魅力</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・富山の魅力は、             <ol style="list-style-type: none"> <li>①美しい自然に囲まれ、四季を強く感じる生活</li> <li>②職住接近の利便に富んだ健康的でムダのない生活(通勤時間の長さ)</li> <li>③富山湾の魚介類をはじめ、新鮮な食材とおいしい水にきれいな空気</li> <li>④各地に伝わる伝統的な祭り</li> <li>⑤気軽に楽しめるスキーや釣</li> </ol> <p>また、温泉ばかりでなく、身近で気軽に楽しめる銭湯が富山には数多くある。</p> </li>   <li>・手の届く所に程良く且つ満遍なく生活、文化、芸術そして自然が配置され、そこそこ満足させてくれる魅力＝良さを肌で感じ取っていた。</li>   <li>・富山県の食材と水を使って、日本中の人をうならせる料理が発掘ないし開発できればと思う。 「和風薬膳」のジャンルを富山県の豊富な食材と水を駆使して確立され、食文化の発展に貢献されることを期待する。</li>   <li>・富山の財産             <ol style="list-style-type: none"> <li>①自然とその恵み</li> <li>②地場産業、歴史的建造物、交通等</li> <li>③祭り、イベント</li> <li>④その他（富山県警山岳警備隊、電脳山田村）</li> </ol> <p>また、水道の蛇口からミネラルウォーターのような美味しい水が出てくるのは感動もの。</p> </li>   <li>・富山にはあまりにも沢山素晴らしいものがありすぎるので、そのよさが判らない。富山に生まれ、富山で生活している人達はそれに気が付かず、積極的によさをPRしようという気にならないのかもしれない。隠しておきたいのではなく、余りにもいいものが沢山あるので、その良さがわからず、表現ができないということかもしれない。 冬の雪かきには、人の事を思いやるという気持ちが内にあると思う。 自然の厳しいところでは、周りと同化・協調する事が重要。</li>   <li>・富山の魅力は、「自然」と「生活環境」に恵まれていること “山・川・海”と“水・空気・緑”といった自然そのものが一定地域内（広くもなく、狭くもない）に見事なまでに調和がとれ、バランスよく備わっている。 魚・米といった素材にも恵まれ、生活を営む空間が素晴らしい。</li>   <li>・「富山の魅力」としては、あの「天賦の豊かな自然」と「富山湾の海の幸」のおいしい味は忘れられない。 「おわら風の盆」「城端むぎや祭り」といった伝統・文化 「春の松川辺りの桜」「呉羽梨園の白い花のジュータン」「冬の雪囲い」の素晴らしさも忘れることのできない富山の思い出である。</li>   <li>・富山は、企業が集積した日本海側有数の産業都市であり、先進的な経営感覚を有する有能な経営者にお会いでき、豊かな自然に恵まれたすこぶる生活のし易い土地である。</li> </ul>
--------------	--



富山は、今後どう取り組むべきか

- ・「おわら風の盆」の更なる活用。「おわら風の盆」の観光客は、「高齢新人類」であり、この人達が富山に永住（セカンドハウスでもよい）したいようにアピールすべき。「風の盆」の時期に、富山県内で安い湯治場や民宿等の積極的なアピールを行なうべき。
- ・民と官（自治体行政）が一体となって、どこに力を注ぐかで魅力の拡大に繋がるものと確信する。  
魅力を求める「単位」は、市町村単位か、あるいは周辺の隣接市町村を含む広域的ゾーンとしての単位が考えられるが、その領域の素材を如何に活用するかということが、惹きつける決め手の一つではないか。県都富山市こそがその魅力の核となるものではないか。富山湾、海の幸、蜃気楼、河川、路面電車、富山城などを一体化して取込むゾーン形成が必要。  
富山は「妖しさ」「怪しさ」「奇しさ」のどれにも欠ける。言い換えれば、「神秘性、不思議性、普通と異なるところ」に乏しい。
- ・県外の富山ファンを増やすには、とにかくできるだけ長く富山に滞在してもらおう仕掛けをつくる必要がある。むずかしいのであれば、短期間滞在した人が、富山に長く滞在したのと同じ体験をできるような仕掛けを作っておく必要がある。インターネットの活用も一策。  
また、ジェットプログラムで海外から派遣された方々の活用についても考えてみたらどうか。
- ・富山県の食材と水を使って、日本中の人をうならせる料理が発掘ないし開発できればと思う。  
「和風薬膳」のジャンルを富山県の豊富な食材と水を駆使して確立され、食文化の発展に貢献されることを期待する。
- ・街の顔である中心街を統一されたはっきりとしたイメージで街造りをするのが大切。倉敷や小樽、横浜の元町のように富山の街の一部をリメイクするのも良い。  
薬問屋の建物や酒蔵で魚を食べさせ、うまい酒を飲ませてくれる料理屋とか、また、北前船廻船問屋をイメージした建物で雰囲気統一すればどうか。  
富山の観光スポットは散在しているので、一個所に集中した見せ場を作ることで鮮明なイメージが少しずつ全国に広がっていくと思う。
- ・旅行者を対象とした交流人口の増加策  
いかに観光資源を活用しPRするかがキーポイント
- ・移住者を対象とした交流人口の増加策
  - ①企業誘致
  - ②特色ある教育機関の有無がキーポイント  
家族帯同で赴任しうる環境整備をする・・・県外から転入してくる中高生の受け入れを配慮したシステムの導入  
「老後の生活は富山で」と謳えるような環境の整備  
米国のフロリダやフェニックス等のリタイヤ後の人々が移住し活性化している土地の状況を研究し検討することも参考になるのではないか。

	<ul style="list-style-type: none"><li>・富山の問題点<ul style="list-style-type: none"><li>①官高民低</li><li>②老強若弱</li></ul></li> <li>・富山の活性化<ul style="list-style-type: none"><li>①「富山の魅力」を最大限に生かし個性ある特徴ある街づくり</li><li>②伝統的な文化・芸術・歴史・教育といった分野から富山に相応しいものを探し出す、或いは作り出して、内外一体となって徹底育成。</li><li>③都市化にこだわらない活性化</li></ul></li> <li>・産業都市としての印象が強いせいか、都市としての雰囲気にとことなく趣きや味わいといった風情が欠けるのも事実。もう少し遊ぶ心が感じ取れるような都市としてのイメージが醸し出されると申し分がないと思う。</li></ul>
--	--

## 観光資源について

[財団法人日本交通公社「観光資源評価台帳」(2000年3月)、同調査部編「観光読本」より]

- ◆「観光資源」・・・利用者がそれを見ることによって、美しさ、珍しさ、偉大さ、深遠さなどを感じ自己発見へといざなうもの。なお、観光資源は、大きく自然資源と人文資源(人の手によって作り上げられてきたもの)に大別される。

自然資源	人文資源
山岳、高原、原野、湿原、湖沼、峡谷、滝、河川、海岸、岬、島、岩石・洞窟、動物、植物、自然現象	史跡、社寺、城跡・城郭、庭園・公園、歴史景観、地域景観、年中行事、建造物、動植物園・水族館、博物館・美術館

### ◆評価基準

ランク	基準・内容
特A級	わが国を代表する資源で、かつ世界にも誇示しうるもの。わが国のイメージ構成の基調となりうるもの。
A級	特A級に準じ、その誘致力は全国的で、観光重点地域の原動力として重要な役割をもつもの。
B級	地方スケールの誘致力を持ち、地方のイメージ構成の基調となりうるもの。
C級	主として、県民および周辺地域住民の観光利用に供するもの。
D級	地域住民の利用

### ◆観光資源における“自然資源”の分布状況

(※「財団法人日本交通公社 観光資源評価台帳」(2000年3月より))

No.	都道府県	特A級・A級	B級	計
1	北海道	39	77	116
2	長野	17	63	80
3	群馬	8	37	45
4	鹿児島	16	27	43
5	富山	10	29	39
6	福島	11	24	35
	各県合計	251	825	1076
	資源合計	216	765	981

(注) 各県合計は複数県にまたがる資源を各県ごとに合計したもの  
資源合計は資源単位の合計

### ◆評価(自然資源と人文資源)

ランク	代表資源名(富山)	代表資源名(他県)
特A級 ・A級	(山岳) 立山連峰(雄山、劔岳、薬師岳)、 白馬三山 (高原) 雲ノ平、弥陀ヶ原、五色ヶ原 (峡谷) 黒部峡谷 (滝) 称名滝、劔大滝 (年中行事) おわら風の盆 (建造物) 黒部ダムと黒部湖	(山岳) 富士山、阿蘇山 (高原) 八幡平、乗鞍高原 (原野) サロベツ原野 (湿原) 尾瀬ヶ原湿原 (湖沼) 十和田湖、摩周湖、芦ノ湖 (峡谷) 奥入瀬渓谷、層雲峡 (滝) 華厳滝、白糸の滝

		<p>(河川) 最上川、長良川、四万十川、梓川  (海岸) 田野畑海岸、知床海岸、天の橋立  (岬) 知床岬、足摺岬  (島) 利尻島、佐渡島、小豆島、石垣島  (岩石) 秋芳洞、鬼押出  (動物) 釧路のタンチョウヅル、出水のツル  (植物) 日光の杉並木、屋久島原生林、弘前城の桜  (自然現象) 鳴門の渦潮  (史跡) 京都御所、仁徳天皇陵  (社寺) 日光東照宮、法隆寺、東大寺  (城跡・城郭) 姫路城、松本城、熊本城  (庭園・公園) 桂離宮庭園、兼六園  (歴史景観) 妻籠宿、明日香村  (年中行事) 札幌雪祭、祇園祭、ねぶた祭 等</p>
B級	<p>(山岳) 雪倉岳、朝日岳、黒部五郎岳、黒岳、大日岳、三ツ俣蓮華岳、針ノ木岳、烏帽子岳、野口五郎岳、鷲羽岳、爺ヶ岳、  (高原) 太郎兵衛平  (湖沼) 黒部湖  (峡谷) 庄川峡、神通峡、称名峡  (河川) 庄川、黒部川、常願寺川  (海岸) 灘浦海岸  (動物) ホタルイカ群雄  (植物) 立山杉の原生林、ブナ坂のブナ、五色ヶ原高山植物群、弥陀ヶ原高山植物群、富山湾の埋没林、弥陀ヶ原の紅葉、朝日岳の高山植物群  (自然現象) 蜃気楼  (社寺) 国泰寺、瑞泉寺  (城跡・城郭) 富山城址、高岡城址  (歴史景観) 五箇山相倉集落、五箇山菅沼集落  (地域景観) 砺波平野のチューリップ  (年中行事) 高岡曳山祭  (建造物) 小矢部市のメルヘン建築</p>	<p>(山岳) 昭和新山、筑波山  (高原) ニセコ高原、那須高原  (原野) 根釧原野  (湿原) 原始ヶ原、天狗の底湿原  (湖沼) サロマ湖、浜名湖  (峡谷) 奥久慈溪谷、大歩危・小歩危  (滝) 養老ノ滝、赤目四十八滝  (河川) 石狩川、那珂川、信濃川、球磨川  (海岸) 九十九里浜、東尋坊、桂浜  (岬) 襟裳岬、竜飛崎、犬吠崎  (島) 礼文島、八丈島、淡路島  (岩石) 富士風穴、四国カルスト  (動物) 土佐湾のクジラ、奈良のシカ  (植物) 阿寒湖のマリモ、虹の松原  (自然現象) 網走海岸の流氷  (史跡) 札幌時計台、関ヶ原古戦場  (社寺) 柴又帝釈天、知恩院  (城跡・城郭) 五稜郭跡、犬山城  (庭園・公園) 偕楽園、後楽園  (歴史景観) 函館石造倉庫群、津和野町並み  (郷土景観) 十勝サイロ風景、高山の朝市  (年中行事) 大文字五山送り火、長崎ペーロン 等</p>

## 暮らしまわりの良さ

[※「富山がわかる本」(平成12年3月31日 富山県統計課・富山県統計協会編)より作成]

### 1. 住環境

- ・住宅・・・ゆとりの住まい
- ・生活の安全・・・安心して住める。火事と犯罪が少ない
- ・環境保全・・・都市・生活環境
  - ゴミ収集の指定袋制や有料化(16市町村)の導入、資源としての空缶や古新聞などの回収が進められ、県民1人1日当たりゴミ排出量は全国平均を下回り、リサイクル率(ゴミ処理・集団回収量のうち、中間処理に伴い資源化及び集団回収されたものの割合)は全国平均を上回っている。
- ・まちづくり・・・うるおいのある生活空間。自然との調和、“日本一の花と緑の県”への取り組み
- ・交通網・・・質の高い道路

	指標名	指標値	順位	全国	年次
住宅	持ち家住宅率	80.6%	1	60.3	平成10年
	住宅延べ面積(1住宅当たり)	155.69 m <sup>2</sup>	1	92.43	平成10年
	1人当たりの畳数	14.74 畳	1	11.24	平成10年
	敷地面積(1住宅当たり)	393 m <sup>2</sup>	5	273	平成10年
安全	建物火災出火件数(住宅10万戸当たり) (少なさ)	38.0件	1	65.3	平成10年
	犯罪発生件数(人口10万人当たり) (少なさ)	962.7件	6	1,611.8	平成10年
環境保全	1人1日当たりゴミ排出量(少なさ)	902g	6	1,114	平成8年
	リサイクル率	13.7%	10	10.3	平成8年
自然	植生自然度比率	30.3%	3	19.1	平成5年度
	都市公園面積(都市計画区域内人口1人当たり)	12.22 m <sup>2</sup>	8	7.70	平成10年度
	1人当たり公園面積	11.9 m <sup>2</sup>	10	9.3	平成9年度
交通網	舗装率(一般道路)	87.2%	10	75.4	平成9年度
	規格改良率(一般道路)	73.9%	1	54.7	平成9年度
	1世帯当たり自家用自動車保有台数	1.61台	1	1.06	平成10年度

### 2. 就業機会

- ・就業・・・働きやすい環境
  - 就業率が高い。特に女性の就業率が高い。これは、就業機会に恵まれていること、また、世帯規模が大きく女性が育児や家事を家族にある程度任せられること(三世代同居が多く祖父母に子供を預けて働けること)、保育所の普及率が高いことなどによることが考えられる。
- ・商業・・・大規模小売店とコンビニが急増。
  - 人口当たりの商店数が多く、1店当たりの従業者数と販売額が少ない。
- ・サービス業・・・多様化と拡大が続く。

	指標名	指標値	順位	全国	年次
就業	就業率	64.6%	4	60.8	平成7年
	女性就業率	53.4%	4	47.3	平成7年
	共働き率	62.1%	3	47.0	平成7年
	正規雇用率(男)	69.1%	12	67.8	平成9年
	正規雇用率(女)	51.8%	2	42.8	平成9年
商業	小売業商店数(人口千人当たり)	14.3店	6	11.3	平成9年
	食料品スーパーの数(人口1万人当たり)	1.94店	7	1.40	平成9年
	コンビニエンスストア店数(人口10万人当たり)	31.1店	15	29.0	平成9年
サービス業	クリーニング施設数(人口千人当たり)	2.33軒	1	1.30	平成10年度
	理容師数(人口千人当たり)	2.55人	11	1.99	平成10年度
	映画館数(人口10万人当たり)	2.13館	6	1.53	平成10年度
	公衆浴場数(人口10万人当たり)	30.37軒	9	21.14	平成10年度

### 3. 教育環境

- ・家庭教育・・・家庭と地域のきずな。
- ・学校教育・・・教育熱心な県民、高い大学等進学率。
- ・生涯学習・・・生涯学習に取り組む人が多く、そのための施設が充実。また、県民誰もが目的に応じて受講できる各種学校・講座が多数あり、その受講者数も多い。県民の高い学習意欲がうかがえる。

	指標名	指標値	順位	全国	年次
家庭教育	三世代同居割合	23.3%	3	10.5	平成7年
	児童クラブ組織率	70.4%	8	41.5	平成10年
	母親クラブ会員数(1万世帯当たり)	604人	5	81	平成9年
	勤労青少年・婦人福祉施設数(人口100万人当たり)	47.1	7	19.4	平成10年
学校教育	高等学校等進学率	98.5%	2	96.9	平成11年
	大学等進学率(高等学校新規卒業者)	49.4%	8	44.2	平成11年
	大学等・専修学校専門課程への進学率(高等学校新規卒業者)	68.8%	2	60.9	平成11年
	小学校女子教員割合	70.4%	2	62.3	平成11年度
	中学校女子教員割合	49.2%	1	40.6	平成11年度
生涯学習	公立図書館数(人口10万人当たり)	5.24館	1	1.98	平成10年度
	博物館数(人口100万人当たり)	24.9館	2	5.7	平成8年
	文化会館数(人口100万人当たり)	23.1館	2	12.3	平成8年
	公民館数(人口10万人当たり)	30.29館	10	14.16	平成8年
	公立図書館蔵書数(人口百人当たり)	329冊	2	208	平成9年度
	成人一般学級・講座受講者数(人口千人当たり)	124.4人	3	52.6	平成7年度

この指とまれ委員会

(五十音順・敬称略)

委員長	宮田一平	(株)日本興業銀行	富山支店長
副委員長	池田安隆	(株)池田屋安兵衛商店	代表取締役
副委員長	岩崎正敏	日本政策投資銀行	富山事務所長
副委員長	奥井 聰	富山中央水産(株)	代表取締役社長
副委員長	辻 正博	三菱商事(株)	北陸支店長
副委員長	本田百合子	本田会計事務所	代表・公認会計士・税理士
副委員長	宮本次郎	(株)宮本工業所	代表取締役社長
副委員長	山口昌広	北酸(株)	代表取締役社長
	浅野公士	(株)チューリップテレビ	取締役営業局長
	荒井輝夫	(株)エーエヌエーホテル富山	取締役総支配人
	在田利男	高岡信用金庫	理事長
	板倉啓子	板倉料理学院	院長
	市丸正年	富山県信用組合	理事長
	猪村光裕	商工組合中央金庫	富山支店長
	梅田ひろ美	(株)ユニゾーン	代表取締役社長
	大石準一	(株)日立製作所	北陸支社長
	岡田隆夫	(株)福井銀行	富山エリア統括店長兼富山支店長
	奥村 茂	(株)福光屋富山	代表取締役
	小野正裕	助野靴下(株)	代表取締役社長
	上村雅一	日本海発電(株)	取締役社長
	河合裕子	(株)かわい本館	取締役・若女将
	久郷慎治	(株)久郷一樹園	代表取締役
	小林紀男	富山日野自動車(株)	取締役社長
	小又幸進	北陸電力(株)	取締役富山支店長
	酒井鉄夫	(株)エーシージャパン	取締役社長
	佐竹 弥	(株)北國銀行	富山支店長
	佐々良男	(株)富山フジカラー	代表取締役社長
	志鷹新樹	丸新志鷹建設(株)	代表取締役社長
	白石哲男	(株)不二越	常務取締役
	瀬戸 徹	(株)瀬戸	代表取締役
	竹中時造	(株)竹中製作所	代表取締役社長
	立花一元	安田火災海上保険(株)	富山支店長
	田中彰二	北陸電機製造(株)	取締役社長
	田中慎也	(株)第一勧業銀行	富山支店長
	田村明久	(株)タムラ建築設計事務所	代表取締役
	釣谷圭介	サンエツ金属(株)	代表取締役会長
	富岡 洋	石川島播磨重工業(株)	北陸支社長
	中沢誠治	住友生命保険(相)	富山支社長
	中山誠二	(株)大和	常務取締役富山店長
	橋爪 幌	(株)ソシエハシヅメ	代表取締役社長
	羽石仁志	野村證券(株)	富山支店長
	林 健吾	(株)サンショウ	代表取締役社長
	平岡 昇	富山テレビ放送(株)	取締役会長
	福田時夫	大同生命保険(相)	富山支社長
	前田幸吉	三菱電機(株)	北陸支社長
	松山泰章	三井物産(株)	北陸支店長
	三浦睦巳	(株)名鉄トヤマホテル	代表取締役会長
	深山行広	新光証券(株)	富山支店長
	諸江 寿	(株)ジェイティービー	富山支店長
	安永信雄	中小企業金融公庫	富山支店長
	山下 功	富山信用金庫	監事
	余川昭一	余川工業(株)	代表取締役会長
	吉田栄一	(有)月世界本舗	取締役社長
	若林啓之助	(株)若林商店	代表取締役会長
	渡辺信樹	(株)リッチェル	取締役社長室長

富山経済同友会

〒930-0046 富山市堤町通り1丁目2番26号

TEL (076) 423-3209

FAX (076) 422-0114

e-mail : [doyukai@po.hitwave.or.jp](mailto:doyukai@po.hitwave.or.jp)